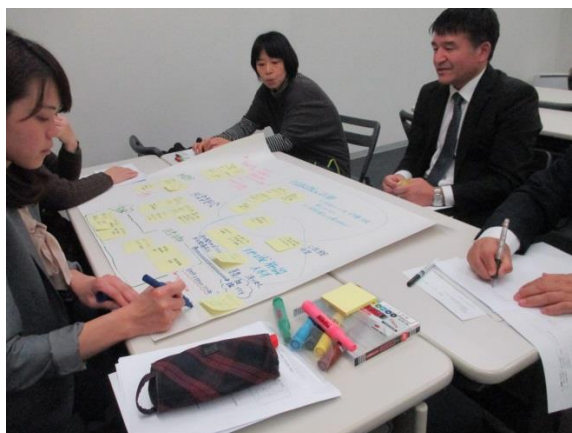


図書館教育担当者研修会



＜小学校グループ討議＞



＜中学校グループ討議＞

12月2日（金）午後3：30～4：45、情報館において「図書館教育担当者研修会」を行いました。研修会のまとめをお知らせします。

（1）子ども読書活動推進計画の説明

- ・国の法律を受けて県が計画を策定し、その後、市や町で策定を進めてきた。十日町市も昨年度、策定委員会を設置し、アンケートを取って現状を把握したり、色々な立場の人から意見を聞いたりして、H28年～33年の5年間の計画が策定された。
- ・教育委員会、情報館、小学校、中学校、家庭、関係機関のそれぞれが取り組んでいくことが書かれている。
- ・小中学校では、「朝読書」「家読」「読書旬間等の取組」「楽しい読書出前授業」「ボランティアの導入」「情報館との連携・協力」「読み聞かせ（下の子へ）」などがある。
- ・希望の多い「学校司書の設置」は、教育委員会の努力事項になっている。

（2）グループ討議…小学校4つ、中学校2つの6グループで行いました。



上の写真でも分かるように、多くの考えが出て、交流がありました。中には、終了の時刻になっても話し合いが続いているグループもあり、熱心な討議がおこなわれました。グループ討議の中で出ていたものをまとめます。

①朝読書について

- ・学力向上や体力向上に押されている現状がある。しかし、学力向上につながるはず。

②家読について

- ・中学校区単位で取り組む。強調週間を設定。メディアコントロール週間と一緒に実施する。
- ・とにかく本の貸し出しをする。
- ・家読カードを作り、記録を残す。
- ・家庭への働きかけが大事だが難しい。…家読カレンダーの配布、有効なアナウンス…等を実践。

③図書室・図書委員会

- ・古い本を片付ける。→明るい図書室を。
- ・調べ学習としての機能も大事。…ネットに負けない図書室作り。
- ・活動がマンネリ化している。

④情報館との連携について

- ・カードを全員がもつようにする。
- ・情報館を知る活動をする。(年に1回は訪問する。)
- ・本の選定、図書室のレイアウト等を手伝ってほしい。

⑤ボランティア導入について。

- ・導入の仕方がわからない。

⑥図書委員会サミットについて

- ・夏休み開催がいい。
- ・やったことのないことを教えてもらう。
- ・うまくいっている委員会活動の紹介。

⑥その他

- ・学校全体の意識向上が課題。(担任によって取り組みに差がある。) →年間計画や取り組み整備
- ・読書量の目標を立てさせる。→年度末に表彰する。
- ・読書離れは大人の方が深刻(スマホ依存…)
- ・学校図書館担当者の授業時数も考えてほしい。
- ・「十日町の100冊」をつくり、各学校に配置する。

参加して下さった各学校の先生方、ありがとうございました。できることから取り組んでいきましょう。すぐにできるものもあれば、予算が伴ったり、年度当初からの計画が必要だったりするものもあります。お手伝いできることがありましたら声を掛けてください。

☆最後に「振り返り」で図書委員会サミットについてご意見をいただきました。様々な考えがありましたので、教育委員会や情報館と協議して、新年度の予定を決めるまでには、提案をします。

☆「情報館まるごと体感フェア」(1月4日～9日)で、図書委員会の活動紹介をしていただける学校には、近日中に詳細をお送りします。ご協力をよろしく申し上げます。